

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		予防接種事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分		一般会計		事業類型	法定受託系		担当課	保健センター			
	事業期間		平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	予防係			
	総合計画 新基本計画	施策等	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します					
			重点事業		実施計画事業	○						
	予算区分		款	4	項	1	目	2	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画		予防接種法									
	目的	何・誰を対象に	市民									
		どの様な状態にするのか	予防接種を実施することで、市民が感染症へ感染することを予防する。									
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか		<p>◆平成27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターで集団接種を実施: BCG ・医療機関で個別接種を実施: 麻しん風しん混合、四種混合、三種混合、二種混合、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン、水痘、ポリオ ・接種率向上のため定期予防接種の全ての対象者に個別に案内を通知 ・安全な予防接種を実施するため、個人の接種状況を管理 ・高齢者のインフルエンザ及び定期接種対象者以外の肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の一部補助を実施 ・妊娠を希望している女性等に風しんワクチン及び未就学児のおたふくかぜワクチン予防接種費用の全額補助を実施 ・職員は、予防接種の実施及び予診票の発送、点検、委託料の支払事務を実施 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <p>予防接種委託料(384,524千円) 予防接種補助金(14,973千円) 予防接種協議会委員謝礼等(15千円) その他、需用費・役務費等(4,843円)</p> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>予防接種委託料(428,844千円) 予防接種補助金(18,339千円) 予防接種協議会等委員謝礼等(99千円) その他、需用費・役務費等(6,631千円)</p> <p>◆その他財源の内容: インフルエンザ予防接種接種料(19,877千円) ◆その他財源の内容: 肺炎球菌ワクチン予防接種接種料(5,862千円) ◆補助金等の内訳: 風しんワクチン接種事業補助金(58千円)(県補助金)</p>									
受益者負担		有 インフルエンザ予防接種受診料: 自己負担額1,200円 高齢者肺炎球菌ワクチン受診料: 自己負担額2,500円										

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	382,514	428,584	404,355
正職員		従事者数	人	0.90	0.90	0.90	0.90
		人件費	千円	4,950	4,950	4,950	4,950
その他職員		従事者数	人	1.00	1.00	0.50	0.50
		人件費	千円	472	151	1,080	1,156
費用合計		千円	387,936	433,685	410,385	460,019	
対前年比		%		111.7	94.6	112.0	
財源	一般財源		千円	369,102	407,843	384,588	433,969
	国・県支出金		千円	1,250	10	58	0
	その他財源		千円	17,584	25,832	25,739	26,050

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	麻しん風しん混合予防接種実施医療機関	箇所	目標	57	57	57
実績				49	55	54	
	麻しん風しん混合予防接種周知回数	箇所	目標	—	—	5	5
			実績	—	—	5	
	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
			目標	—	—	95.0	95.0
	麻しん風しん混合接種率	%	実績	96.1	94.2	90.7	
			目標	—	—	—	90.0
	四種混合接種率	%	実績	53.8	77.1	89.8	
			目標	—	—	—	90.0

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	
	事業の達成状況	予防接種を実施することで感染症に罹患することを予防した。被接種者の体調や都合にあわせてできる個別予防接種を実施する事により接種率の向上を図った。
	事業実施における課題	乳幼児期の予防接種が過密になり、予防接種事故の発生の危険性がある。また、各種予防接種について理解が不十分となる恐れがあり、接種時期を逃してしまうことがある。
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	予防接種の実施や啓発活動をすることで、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進することで、市民の健康維持の取り組み支援ができた。
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 接種間隔の間違いを起こしやすい、ヒブ、肺炎球菌の接種スケジュールを作成し、医療機関に配布する事で、周知徹底し事故の発生を防ぐ。 予診表に同封するヒブ、肺炎球菌の通知文を改正し通知する。
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大 対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの
	判定理由	国の予防接種情報を常に確認しながら、引き続き安全に個別接種を実施していく。また、29年度はB型肝炎ワクチンの個別予防接種を実施するため拡大とする。
	29年度以降の改善案	乳幼児期の予防接種が過密になり、予防接種事故の発生の危険性がある。また、各種予防接種について理解が不十分となる恐れがあり、接種時期を逃してしまうことがある。引き続き実施医療機関への注意喚起を促すとともに、予防接種の変更事項に適切に対応していく。また、B型肝炎ワクチンの個別予防接種を実施する。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。